



松竹谷 清

1957年札幌生まれ。

80年代TOMATOSのリーダーとして活躍。

TOMATOSは1986年JAGATARA、MUTE BEAT、S-KENらと伝説のクラブイベント東京ソイソースをスタート。今でも語り継がれるそのイベントは数多くのミュージシャンに影響を与え、リトルテンポやフィッシュマンズ、ハナレグミらに連なっていると看ても過言ではない。

1994年活動拠点を札幌へ。

1995年キヨシ&チョコレートダンディーズ結成。

札幌ベッシーホールを中心に「Get Crazy」、1996年Bar BAHIAをオープン後は「Bahia Live」とコンスタントに活動しながら、年に数回は東京、名古屋、関西へと駆け巡る。

エマーソン北村

1962年札幌生まれ。

80年代よりJAGATARA、MUTE BEATに参加。

現在も数多くのアーティストとの活動を続けるオルガン・シンセ奏者。

またソロ活動も活発で、リズムボックスとキーボードのみの少ない音源で独自のグルーブとミニマムな世界観を飄々と見せつけるステージは国内だけでなく海外でも熱い支持をされている。

今年7月16日に待望のソロアルバム「遠近(おちこち)」をリリース。そのフライヤーのなかでの印象的な言葉があるので、こちらに転載しておくことにします。

僕がレゲエを始めとする強くて美しいグルーブの音楽から教わったことは、バックギングにはメロディだけでは思いもよらない激情が隠されていて、両方がお互いを発見しあって初めて「グルーブ」が成立するということです。

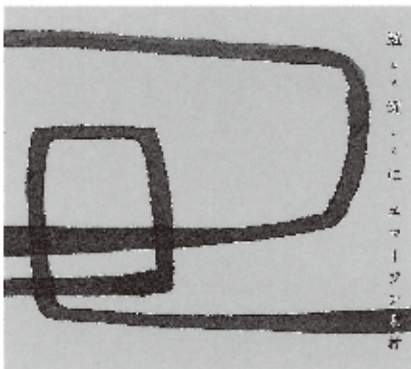


橋本 洋輔

電子機材を駆使する「ダブ、ブレイクビーツ世代のシンガーソングライター」として2枚のアルバムを発表後、いくつかのバンドやグループを経て、メタルバーカッション奏者太田ひろ氏のグループ「プリンツ」にてギター、朗読を担当している。コンピューターを使用した多重録音作品を制作し続ける一方、ライブではガットギターと声によるシンプルな表現を行っている。



NEW! ALBUM



エマーソン北村「遠近(おちこち)に」

bubblingnotes KMCD-A-006

conceived, written and performed by エマーソン北村

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| 1. 時の話 | 8. 王冠 |
| 2. 新しい約束 | 9. ニワ |
| 3. Two Friends | 10. 知らない家 |
| 4. 10時の手帖 | 11. 橋からの眺め |
| 5. 下北六月 | 12. I've Grown Accustomed to Her Face |
| 6. トロント・ロック | 13. 夜中 |
| 7. The Call-Up | 14. 両大師橋の犬 |

The Call-Up by Dury/Hardy and
I've Grown Accustomed to Her Face by Lerner/Loewe

all instruments and voices performed by エマーソン北村

design: 惣田紗奈 illustration: 西島一弘 photograph: 岡部 健